

ヒトと動物の関係学会  
第 12 回総会資料

総会議題

- 1 号議案 2005 年次事業報告
- 2 号議案 2005 年次決算報告
- 3 号議案 監査報告
- 4 号議案 2006 年次事業計画（案）
- 5 号議案 2006 年次予算（案）
- 6 号議案 役員改選
- 7 号議案 規約の改正
- 8 号議案 その他

日時：2006 年 3 月 26 日（日）午後 1 時 15 分より

場所：麻布大学百周年記念ホール

<1号議案>

2005年次事業報告

1)2005年12月31日現在の会員数 正会員1002名 名誉会員 5名  
賛助会員・法人会員 18団体

2)学術大会の開催

第11回学術大会 東京大学農学部弥生講堂・一条ホール

大会実行委員長：松木洋一

参加人数214名\* \*印の参加人数は参加費納入者

2005年3月19日(土)

シンポジウム第一部「アジア人の動物観」

報告者：Sri Budi Lestari、歐陽詠桃、Nguyen Lien Thi Houng、Nuratfina、プリンチムッグ

コメンテーター：秋道智彌

司会：石田戢

ワークショップ「人と馬の新たな共生」

パネリスト：柏村文郎、西村啓二、兵藤哲夫、太田恵美子

総括：本好茂一 司会：徳力幹彦

一般口演9題

2005年3月20日(日)

シンポジウム第二部「野生動物絶滅危惧種と共生する農村整備システム

ーツシマヤマネコ、コウノトリ、トキの新しい展開と課題ー」

講演者：松木洋一、池田啓、本間航介

コメンテーター：名執芳博、高嶺彰

座長：中川志郎

パネルディスカッション「人は動物の何に魅かれるかー動物園での成功する企画ー」

講演者：小菅正夫、若生謙二、石田戢 パネラー：牧慎一郎

一般口演4題

ポスターセッション17題 (両日開催)

3)研究会の開催

2005年1月15日(土) 学生、大学院生のための学術発表審査会2005

場所：日本獣医畜産大学医療センター

審査員：学術委員、編集委員

発表演題：38題

2005年1月16日(日) 新潟県中越地震緊急シンポジウム 第42回月例会

場所：東京大学弥生講堂・一条ホール 参加人数約200名

テーマ：無形文化を守るために、闘牛と錦鯉の教訓に学ぶ

「角突き牛を飼う人々について」 講演者：菅豊

「錦鯉について」 講演者：吉田俊一

「錦鯉と闘牛に関する討論」 秋道智彌、林良博、間野泉一、関克史

挨拶：會田 勝美 司会：太田光明

2005年4月10日(日) 第43回月例会

場所：高知県 室戸市保健福祉センター 夢ひろば

テーマ：健康社会の復権と地域の再生—動物たちとのふれあいがもたらすもの—

コーディネーター：政岡俊夫

話題提供：太田光明

パネリスト：デニス・C・ターナー、高橋清久、橋本大二郎、武井哲平

主催：麻布大学・室戸市・ヒトと動物の関係学会

後援：高知県・国立室戸少年自然の家・高知新聞・読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・高知放送

NHK高知・テレビ高知・高知さんさんテレビ・室戸岬イルカサポーターの会

2005年6月25日(土) 第44回月例会

場所：東京都多摩動物公園ウォッチングセンター動物園ホール 参加人数21名

テーマ：多摩動物公園の新しい展示とその成果

講演者：石田戢

2005年7月16日(土)・17日(日) 第45回月例会

場所：京都大学霊長類研究所・大会議室1階

テーマ：ニホンザルの保全

コーディネーター：和田一雄、渡辺邦夫 挨拶：松木洋一

1日目「ニホンザルとの付き合い方の変遷史」 講演者：三戸幸久

「地域農業の多義性と猿害」 講演者：鈴木克哉

「サルの都合と農家の都合」 講演者：井上雅央

「ニホンザル保全学の位置付けと学史的吟味」 講演者：和田一雄

「石川県におけるニホンザルの保護管理」 講演者：林哲

司会：渡辺邦夫

2日目「伊那谷における自然共生農場計画と野生動物管理」 講演者：松木洋一

「ニホンザルの繁殖コロニー設立をめぐる諸問題」 講演者：渡辺邦夫

司会：和田一雄

座長：太田光明

コメンテーター：石田戢、汾陽光盛

2005年9月17日(土) 第46回月例会

場所：東京大学農学部7号館A棟1階104教室 参加人数33名

テーマ：アジア人の動物観 PART II

報告者：朱大勇、石本恵淑、佐藤マリヴィック

司会：石田戢

2005年12月4日(日) 第47回月例会 動物観研究会公開ゼミナール

場所：東京農工大学農学部・2号館2N-11教室

テーマ：餌付けと動物観

「つくられたニホンネコの美」 講演者：橋爪千恵

「『鳥獣人物戯画』甲巻の動物表現」 講演者：藤岡麻理子

「教科書と絵本に見られるアメリカザリガニの動物観」 講演者：多賀恵子

「闘牛をめぐる動物観」 講演者：佐伯朝彩子

「ハハー：動物を空間デザインに位置づけた仕掛け」 講演者：若生謙二

「日本と内モンゴルの動物観の基礎研究」 講演者：村松茜・佐野秀樹

「クマと人間との軋轢をどのように解決したらよいか」 講演者：坪田敏男

「奈良春日大社の餌付け史」 講演者：香西豊子

「餌付け・餌やりをどうみるかーコウノトリとタンチョウの例から」 講演者：篠田真理子

「人はなぜ餌を与えたがるか」 講演者：石田戢

総合討論「餌付けと動物観」 司会：堂前雅史 挨拶：亀山章

2005年12月18日(日) 第11回公開シンポジウム 参加人数：52名

場所：財団法人大学コンソーシアム京都 キャンパスプラザ京都2階第1会議室

第1部 学生、大学院生のための学術発表審査会 2006(関西地区)

発表演題：8題

第2部 テーマ：ネコ科動物と人間の文化史

「古代メソポタミアの王とライオン」 講演者：渡辺千香子

「ネコの目から見た大英帝国」 講演者：井野瀬久美恵

パネルディスカッション：宮田勝重、秋道智彌、渡辺千香子、井野瀬久美恵

司会：奥野卓司

後援：関西学院大学 人間と動物との共生を考える会

協賛：アメリカ・ペットフード協会

#### 4)会議の開催

常任理事会 1月16日、7月6日、12月18日

理事会 3月21日

評議会 3月21日

編集委員会 3月19日

学術委員会 4月22日、12月2日

5)学会誌の発行

第15号発刊 2005年4月 1,500部

第16号発刊 2005年10月 1,100部

<2号議案>

2005年次決算報告(2005年1月1日~2005年12月31日)

収入の部	10,776,263 円
支出の部	8,566,490 円
差引残高	2,209,773 円

収入の部	課目	会計予算	会計決算
	繰越金	2,852,843	2,852,843
	個人会員会費	4,000,000	3,595,000
	賛助・法人会員	1,000,000	789,265
	広告費	1,200,000	1,272,430
	協賛金		0
	学会誌販売等	200,000	322,850
	学術大会参加費		1,380,000
	懇親会参加費		239,000
	その他の収入(寄付、雑収入等、別刷り、利息)	747,157	110,444
	学術大会でのその他の収入(ブックコーナー等)		214,431
	計	10,000,000	10,776,263

収入総計

10,776,263

支出の部	課目	会計予算	会計決算
	事務費	1,900,000	1,707,957
	郵送費	1,700,000	545,667
	印刷・制作費(学会誌15号・16号)	6,000,000	3,005,569
	編集費	100,000	2,830
	会議費	100,000	18,190
	事業費(学術大会、月例会謝礼、会場費等)		3,131,160
	その他(IAHAIO年会費等)	200,000	155,117
			0
	計	10,000,000	8,566,490

支出総計

8,566,490

<3号議案>

監査報告

2005年1月1日から12月31日までの2005年次における会計及び業務の監査を行い、内容について適正であると認めたので報告する。

2006年3月26日

監事 森下はるみ 印

監事 井本 史夫 印

<4号議案>

2006年次事業計画(案)

1) 学術大会の開催

2006年3月25日(土)・26日(日)

麻布大学百周年記念ホール(8号館7階)

シンポジウム第一部「動物介在教育(AAE)を考える」

「動物介在教育「Animal Assisted Education:AAE」の多面性」 講演者：横山章光

「効果的な動物福祉教育は子どもの心と考え方を変える」 講演者：ヤスミン・デブー

「動物介在教育の実践ー幼稚園におけるAAEを中心としてー」 講演者：谷田創、木場有紀

「子どもの教育における動物の役割」 講演者：鳩貝太郎

座長：横山章光

シンポジウム第二部「獣害か人害かー猪鹿猿とヒトとの共生ー」

「ヒトの立場とイノシシの立場」 講演者：江口祐輔

「平野部から森林に追い上げられたニホンジカ問題」 講演者：古林賢恒

「ニホンザルと人間との棲み分けをめざして」 講演者：羽山伸一

コメンテーター：和田一雄、石田戢

座長：松木洋一

一般口演およびポスターセッションによる発表 36題

2) 研究会の開催

シンポジウム 1回(2006年11月京都を予定)

月例会 4回(2006年5月 7月 9月 11月を予定)

学生審査会 1回(2006年1月)

2006年1月21日(土) 学生、大学院生のための学術発表審査会 2006(関東地区)

場所：日本獣医畜産大学

審査員：学術委員、編集委員

発表演題：32題

2006年5月21日(日) 第48回月例会

場所：東京大学農学部 弥生講堂

テーマ：動物愛護教育(ヒューメイン・エデュケーション)教育と愛護の融合

講演者：フランク・R・アシオーン

パネリスト・コーディネーター・通訳：山崎恵子

パネリスト：山口千津子

### 3)雑誌の発行

2回(6月 10月)

#### <5号議案>

##### 2006年次予算(案)

<u>収入の部</u>		<u>支出の部</u>	
繰越金	2,209,773	会議費	30,000
会費	4,000,000	印刷・制作費	4,000,000
賛助・法人会費	1,000,000	編集費	20,000
広告費	1,200,000	郵送費	1,100,000
雑誌等販売	300,000	事務費	1,750,000
寄付・雑収入	290,227	事業費	3,100,000
大会参加費	1,000,000		
<hr/>		<hr/>	
計	10,000,000	計	10,000,000

#### <6号議案>

役員改選(別紙)

#### <7号議案>

規約の改正

- ・ 年会費 一般 5,000 円(変更なし)
- ・ 学生 2,500 円(新規)

#### <8号議案>

その他